



## 野外救急法 WILDERNESS FIRST RESPONDER (WFR)

### ウィルダネス・ファースト・レスポnder・コース

アメリカ・カナダといった北米はもとより、世界の野外活動指導者・山岳ガイド・リバーガイドが最低条件として持つべき資格で、今では世界のスタンダードとなっています。アメリカのWILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES (WMA) <http://www.wildmed.com/index.htm>よりインストラクターを派遣していただき、過去2回に続き3度目の資格取得コースを開催いたします。

日本で救急法と言えば、都市部を想定とした心肺蘇生法が一般的に知られており講習会も様々な団体によって行われております。しかしながら、現状では、野外や緊急車両に引き継ぐまで時間のかかる野外環境下を想定した、体系的な野外救急法が確立されていないのが現状です。実際に、野外にいる際には心肺蘇生法を行うよりも、様々なけがや病気に対処することが多く、その中でも緊急を要し、素早く対処することが、人命や後遺症を防ぐこととなるケースも少なくありません。しかし、そういった医療知識を含めた勉強をすることができるのは、医療関係者に限定されています。

今回のWFRコースは、野外環境下を想定し、最新の医学知識や根拠をもとに医療関係者と野外活動のプロフェッショナルによって体系化された、30年以上もの歴史のある野外救急法です。現在、日本では学ぶことのできない、野外先進国であるアメリカの最先端の野外救急法を学び資格を取得できるものとなっております。



### WILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES

1978年にアメリカのOBSに野外の医療トレーニングとリスクマネジメントを提供した団体で、それ以降、野外での指導者やリーダー、救助隊といった対象向けのコースを提供しています。主な受講者としては野外を職業としているプロフェッショナル・団体スタッフ、山岳ガイド、レスキューを職業とする人、ナショナルパークサービス、野外に関わる大学生、救急隊員、FBI、林業や山で働く労働者などです。

また、世界中のOBS各スクール、NOLSやYMCAといった北米の各野外団体、野外を学べる大学などが主催してコースが行われ、野外に関わる関係者の初めに取りべき最初の資格となっています。現在の状況ではアメリカやカナダなどに渡航をして、英語でコースを受け、資格を取らなければなりません。今回は日本語通訳を入れて行うコースとなっています。ぜひ、この機会に取得をして下さい。

開催日 2008年12月13日(土)～21日(日) 8泊9日 休養日1日含む

開催地 静岡県立朝霧野外活動センター(静岡県富士宮市)

参加費 120,000円(税込み) **コース中の講習参加費、資料代、装備費、保険料を含みます。**

また講習中、宿泊・食事の手配が必要な方は朝霧野外活動センターを利用できます。

26,300円(8泊9日 朝食8食、昼食9食、夕食8食、シーツ代)にて受付致します。

単価 1泊1,400円 シーツ代 160円 朝食400円 昼食550円 夕食850円

申込時にお申し出下さい。

対象 18歳以上の方。

定員 16名

内容 通常70時間8日間で行われているコースですが、長期の講習のため1日休養日を設けています。

基本的には午前中は室内にて医療、傷病、神経系や循環系、呼吸系、骨などの人体について、雷、高温時、低温時、虫さされ、噛まれなどの環境・動植物といった知識の講義中心で、午後は応急処置や搬送の練習、シュミレーションといった実践形式で行われます。

資格 WFRコースを修了された方はWILDERNESS MEDICAL ASSOCIATESより、3年間有効のWFR修了証、アナフィラキシー修了証、BLS-CPR修了証が授与されます。また再講習(約3日間)で延長可能です。



### 問い合わせ・申し込み受付

財団法人 日本アウトワード・バウンド協会 長野校 担当 浜谷

TEL 025-557-2211 FAX 025-557-2277

HP URL: <http://www.obs-japan.org>

Email: [info@obs-japan.org](mailto:info@obs-japan.org)